

豊かな社会の発展への取り組み

「サービス先端企業」という経営理念のもと、当社独自のノウハウ、経営資源、そして社員一人ひとりの経験を活かし、クレディセゾンだからこそできる社会の発展・課題解決に日々の事業を通じて貢献することで、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会をつくっていきます。

安心・安全・便利なキャッシュレス社会の実現

多様な決済スキームの構築

キャッシュレス社会実現に向けて、お客様の利便性向上を目的として多種多様な決済プラットフォームの実現に取り組んでいます。クレジットカードやプリペイドカードをはじめとするプラスチックカードの発行に加えて、近年ではスマートフォン決済や提携先アプリと連携したQRコード決済など次世代決済スキームの提供にも取り組んでいます。



クレジットカード プリペイドカード スマートフォン決済

個人情報の適正管理

個人情報の管理については、法令はもとより、ガイドライン・業界ルールなどを遵守するとともに、社内規程を定め、社内研修・コンプライアンス教育を実施し、(社)日本クレジット協会の資格制度である「個人情報取扱主任者」の取得を実質的に社員に義務付けるなど、管理意識の醸成と浸透に努めています。また、個人情報の取り扱いについては、専用回線の利用、アクセス権限者の制限、情報の暗号通信技術であるTLS/SSL(Transport Layer Security/Secure Socket Layer)の採用、情報端末設置場所への入退室など、セキュリティの強化を図っています。なお、個人情報の取り扱いを適切に行っている事業者に対して付与されるプライバシーマークを2006年5月に取得し、個人情報保護水準の維持・向上に取り組んでいます。

多重債務への対応

使い過ぎによる「多重債務者」の発生防止と、お客様の暮らしを豊かにし、経済の発展に寄与するということのバランスの追求が最重要課題と考え、個人情報の適正管理に努め、慎重な与信と与信後の適切なフォローによる「多重債務者」発生防止に取り組んでいます。

情報・サイバーセキュリティ

カードのお申し込みやNetアンサーなど、Webシステムにおけるお客様の大切な情報を預かる部分についてはTLS/SSLと呼ばれる暗号通信技術を採用し、お客様の個人情報を保護しています。

不正利用検知の精度向上(AI)

最新テクノロジーを活用するなど、不正利用検知システムの精度向上をはかることで、お客様に安心・安全な決済環境を提供しています。

アジアにおける金融サービスの提供

東南アジア新興国を中心とした現地企業との合弁・提携により、金融インフラを提供し、現地経済の発展・国民生活向上に貢献しています。



ポイント交換やカード決済による寄付

ポイント交換やカード決済による災害や、研究への寄付を通して、地域や社会へ貢献しています。また、ポイント運用サービスなど、投資を疑似体験できるサービスを開発し、投資機会の提供など、金融教育と豊かな人生設計をサポートしています。



かながわペットのいのち基金

首里城の再建支援

次世代教育推進・金融教育

全国約200校で導入されている探究学習プログラムの「クエストエデュケーション」に参画し、全国の学生へ金融教育を実施しています。

この活動を通じて、社員が社会とより深く関わり、社員自身の成長に繋げるとともに、生徒の学びをサポートしています。



出張授業 SAISON TEACHER

クレディセゾンでは次世代を担う子どもたちが正しい金融知識を身に付け、自立した消費者となるために全国の学校にて、出張授業を行っています。キャッシュレス化が進み、多種多様な決済手段が溢れている現在、子どもたちが将来、適切な選択の判断ができるように幅広い金融知識やノウハウを持つ当社社員が講師となる「SAISON TEACHER」を提供しています。



スポーツ・文化活動支援

サッカー日本代表とともに成長し続けていきたいという想いから、2001年よりサポーターカンパニーとして、サッカー日本代表を応援し、2014年からはアジアサッカー連盟(AFC)とのスポンサーシップ契約により、アジアサッカー界も支援しています。また、当社は次世代を担う子どもたちのために、ハイタッチキッズなど日常では味わえない貴重な体験機会を提供することで子どもたちの夢を応援することにも尽力しています。



1999年から、世界三大テノール歌手として名高いスペインのホセ・カレーラス氏の日本公演を協賛するとともに、「ホセ・カレーラス国際白血病財団」に寄付を行い、活動を支援しています。当社では、このような文化・スポーツ支援活動や寄付を通じて、社会貢献の取り組みを継続しています。



環境保全の取り組み

カード利用明細や申込書のWeb化による紙消費量の削減に取り組んでいます。また、デジタルカウンターを活用し、対面でのカード申込受付時の95%をタブレット端末で受付するなど、ペーパーレス化を推進しています。